

施策評価シート (平成22年度の振り返り、総括)

作成日 平成23年 04月 07日

施策 No.	13	施策名	国際交流の推進
主管課名	安全安心課	電話番号	0285-83-8719
関係課名	学校教育課、市民課		

施策の対象	1) 市民(在住外国人)								
対象指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度見込
人口(外国人を含む)	人				66,712	83,392	82,997	82,584	85,500
在住外国人(登録人口・内数)	人				3,532	3,936	3,632	3,466	4,000

施策の意図	1) 市民が主体的に国際理解を深め、国際交流をしよう。 2) 在住外国人に暮らしやすい環境をつくる。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	安全安心課及び真岡市国際交流協会にて把握。 国際交流を日頃から行っている割合は、市民意向調査による。 (平成22年度4月調査) 暮らしやすい環境をつくるという意図に対しては、外国人相談窓口に来る人の割合を指標とした。(相談者延べ人数/登録者数)参考:延べ人数1,761人(実人数914人) 姉妹都市等との交流窓口である国際交流協会をもって、交流に積極的な市民の数として捉えられる。								
成果指標名	単位	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	26年度基本計画目標値
国際交流を日頃から行っている市民の割合	%				17.5	14.2	14.0	12.2	20.0
外国人相談窓口に来る人の割合	%				14.2	16.3	20.8	49.9	18.0
国際交流協会員数	人				339	283	299	302	320

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、国際理解と国際交流に積極的に関わる。 行政は、市民の国際理解と国際交流のきっかけをつくる。								
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

22年度の 評価結果	<p>1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業等への就労のため、県内他市に比較して外国人の登録人口が多く、全人口に占める外国人の比率は4.2%と高い。 ・アメリカ合衆国グレンドーラ市と姉妹都市交流、台湾斗六市と友好都市交流を行っている。 ・姉妹校交流は、グレンドーラ市のガダード中（真岡東中）、斗六市の正心高級中（真岡西中）、北京市の北京第五中（大内中）、オーストラリアのオーストラリンド中（真岡中）、グレンドーラ市のサンドバーク中（中村中）、ボルチモア市のサドブルック中（山前中）の交流を行っている。 ・二宮地区の長沼中、久下田中、物部中は海外派遣を行っている。 ・ロータリークラブの他、民間団体や個人が国際交流をしている。 ・国際交流を行っている市民の割合は、姉妹校の交流が定着してきたことから、横ばいで維持してきた。 ・平成22年度の国際交流を日頃から行っている市民の割合は、12.2%である。
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括</p> <p>交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外からの市長表敬訪問受入（ペルー総領事、アメリカグレンドーラ市民、韓美林芸術館一行、中国舟山鑼鼓団員、中国政府人力資源社会保障部一行）。 ・姉妹校交流は、山前中、真岡東中が受入れた。 ・暮らしやすい環境 ・失業外国人等支援事業として、生活相談、日本語学習支援、行政文書の多言語化、窓口での通訳補助などを実施した。 ・NPO法人「SAKU・ら」及び「わたの花」が在住外国人のための日本語教室を開設し、これを真岡市国際交流協会が支援した。 ・市民との国際交流イベント開催（もおか木綿ふれあい祭り、イヤードパーティー、料理教室等） ・市長との懇談会を実施、31名の外国人が参加した。 ・災害時外国人サポートボランティア養成講座を開講し、21名が参加した。 ・5ヶ国語多言語表記の防災マップを作成し、全外国人世帯（1851世帯）へ郵送配布した。

22年度の 評価結果	3. 施策の課題認識と改革改善の方向
	<ul style="list-style-type: none">・ 民間団体や市民レベルの国際交流を促進する。・ 定住外国人との多文化共生社会の実現を目指す。・ 国際交流推進体制を整備する。 ・
補足事項	